

令和4年度 第1回学校運営協議会記録

1. 日時 令和4年5月16日(月) 14:20～15:30

2. 場所 本校校長室

3. 出席 大阪教育大学 廣木義久 教授
八尾市内学習塾 児玉 隆 代表
八尾市立成法中学校 柿並祥之 校長
八尾市立八尾小学校 菊池妙子 校長
本校PTA会長 西郡武史 会長
本校同窓会 松村康隆 副会長

本校

山上校長 伊藤事務長 中村教頭 中出首席 水野首席 山村進路指導部長

4. 協議概要

協議に先立って、授業観察、本協議会の委員長の選出、本委員会の実施要領の確認を行いました。その後「令和4年度学経営計画」の基本方針、学校行事や教育課程、今春の進路状況や進路指導方針、人事に関する意見や要望などについて協議を行いました。以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

- ◇ 若い先生とのコミュニケーションをとることは大切であり、若い先生に対して指導する機会を作っていることはいいことである。
- ◇ 部活動の入部率が高いことはいいことであり、部活動が充実しているからではないか。
- ◇ 部活動をしながら進路の自己実現を出来ていることは魅力的である。
- ◇ 部活動に関しては保護者には受けが悪い場合もあるが、生徒にとっては大切なもので、中学生の進学(学校選び)理由としては大きいものがある。
- ◇ クラス数減もあり進学実績が下がっているように見えるが、以前に比べると非常に実績は上がっている。
- ◇ 進路指導のロードマップを生徒に示していることはいいことで、高校生にとってもわかりやすく、学校としても進路指導の現在地がわかりやすく指導に一貫性がでていいことである。